

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	24	その人らしい暮らしの情報が不足していてケアプランに活かしてきれていない	日々充実した生活が送れる その人が出来ることを維持することができる	その人の思いや過去の暮らしを本人や家族から再確認し、情報を増やす、増やした情報を基にスタッフ一同でアイデアを出し、その人らしい充実した生活が送れるようその人をアセスメントして、快を探り、見届け、プランに反映する。	6ヶ月
2	38	入居者一人ひとりの力を活かすことができていない	日々入居者とできることを一緒にすることにより、力の発揮・やりがい・楽しみの場面を生み出す	個々のニーズ、持っている能力の把握、日々のカンファレンス、ケアプラン作成時の話し合いとプランへの反映、その人の快・不快の背景を考え、力の発揮につなげる。	12ヶ月
3	52	居室・居間が安全で清潔、本人にとっての良い空間となるよう環境整備が必要	居室・共用空間の清潔保持 安全な居室・共有空間づくり	各場所の危険箇所と本人の持っている能力を把握しながら環境づくりに活かす。その人との関わりは全て本人中心に快・不快を考える。	12ヶ月
4	36	言葉使いが不適切であったり馴れ合いの声かけになってしまうことがある	接遇の改善認知症の特性を理解した上での声掛けができるようになる	カンファレンス開催時に毎月振り返りの機会を持つ。高齢者への尊厳ある態度を日常の声かけで発揮していく。	12ヶ月
5	37	介護者の判断を利用者の判断としている所がある	利用者の思いをしっかり聴き支援する	利用者の発する言葉を汲み取るように意識する。利用者に伝わるように支援する。又、介護者本人が利用者の判断に寄りそえるように深くアセスメントする。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。